



脱石炭、再エネ・省エネの抜本的普及に転換を

世界ではCO2削減で脱石炭が共通認識となり、日本の削減目標の引き上げこそ求められています。国内では21基もの石炭火力の新設計画がすすまられています。

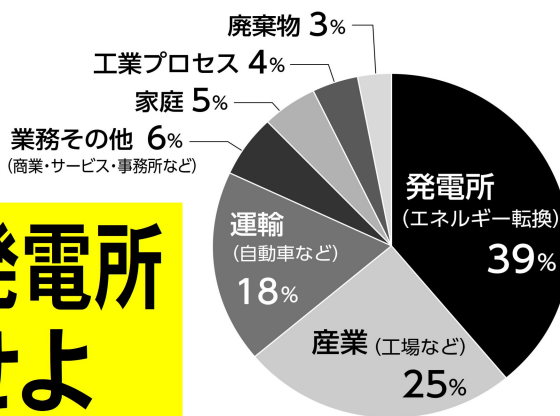
3月7日、参院予算委員会で日本共産党(武田良介議員、比例)は、「世界の先進国は石炭火力の段階的廃止を言っているのに、な

ぜ日本は延命策をとるのか」と岸田首相を批判。いまこそ脱石炭・脱原発を決断し、再エネ・省エネの抜本的普及を行なうことこそ経済成長できると強調し、政策転換を求めました。(党ホームページ、YouTube武田議員の国会質疑をご覧ください)



日本共産党

CO2の排出量の分野別割合 2019年度



環境省「2019年度の温室効果ガス排出量」より



横須賀の石炭火力発電所新設は今からでも中止せよ

東京電力・中部電力が横須賀市久里浜で建設をすすめている石炭火力発電所(運転開始予定2023年以降、燃料の石炭は360万トン/年)。東京湾周辺では4カ所の石炭火力計画があり

ましたが、千葉側の3カ所は中止となり、横須賀だけに。世界に逆行する横須賀での建設を「中止せよ」の市民運動が広がっています。日本共産党は、建設・運転の中止を求めています。

自民前環境相のお膝元で憤り

自民党・小泉進次郎氏(前環境相)のお膝元・横須賀市で世界的に批判を浴びている石炭火力の建設が進むことに、「環境相の地元なのに、再生可能エネルギーではないなんて信じられない」と憤る同市の大学生の声を紹介。(毎日新聞2021年5月8日「石炭火力捨てられず原発触れず、菅政権、虚構の温室ガス削減目標」)

気候危機を打開する2030戦略

省エネ・再エネで、2030年度までにCO2を50~60%削減
日本共産党の政策(全文は右ホームページから⇒)



あさか由香

日本共産党

参議院神奈川

プロフィール●1980年横浜市鶴見区生まれ(旧姓・金谷)。筑波大学国際総合学類卒。民間企業のシステムエンジニアを経て国際運送業に関わる。世界から貧困と紛争をなくしたいと数々のボランティアに携わり、日本共産党に入党。現在、党神奈川県副委員長。家族は夫と子ども3人(10歳・6歳・0歳)。原発ゼロ・気候危機打開へ全力。



ライン公式

8時間働けばふつうに暮らせる社会へ



2022年 号外 日本共産党の見解を紹介します。



発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045(432)2101 FAX 045(432)2103

〔制度解説〕
参議院選挙
の投票方法

比例代表は政党名 (候補者名でも有効です)
選挙区は候補者名で投票します。